

広島大学病院 薬剤部同門会 総会

*氏名は、全て敬称略としております

1. 会長挨拶

2. 決議事項

同門会規約の改訂（P11-14：広島大学病院薬剤部 同門会 規約）

3. 会員報告

1) 表彰

阿登大次郎	「優秀演題賞（薬剤部門）」 第19回大阪病院学会
久保有子	「日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞」 第65回日本化学療法学会西日本支部総会
久保有子	「メディカルスタッフ部門優秀賞」 第30回日本外科感染症学会総会学術集会
久保有子	「優秀演題賞」 第42回広島感染症研究会
柴田ゆうか	「成績優秀学生」 平成28年度 広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ

2) 祝賀

なし

3) 会員数

職員（元）	82名	
（現）	69名（研修生，育児休暇者含む）	
学生（元）	40名	
（現）	28名	計219名（11月30日現在）

4) 学位・資格等取得（認定については開始日が本年分・新規のみ・50音順）

学位

柴田ゆうか 博士（薬学）取得（9月）

資格等

石井聡一郎 スポーツファーマシスト（日本アンチ・ドーピング機構）

大東敏和 認定実務実習指導薬剤師（公益社団法人 日本薬剤師研修センター）

嶋田江理嘉	抗菌化学療法認定薬剤師（日本化学療法学会）
嶋田江理嘉	スポーツファーマシスト（日本アンチ・ドーピング機構）
柴田ゆうか	周術期管理チーム薬剤師（日本麻酔科学会）
田中惇子	認定GCP パスポート（日本臨床試験学会）
土井舞子	スポーツファーマシスト（日本アンチ・ドーピング機構）
中島春佳	緩和薬物療法認定薬剤師（日本緩和医療薬学会）
林 華代	日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）
平田かおり	日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）
深川恵美子	認定GCP エキスパート（日本臨床試験学会）
藤井健司	認定薬剤師（日本医療薬学会）
部谷本知佐子	スポーツファーマシスト（日本アンチ・ドーピング機構）
真志田絵美子	認定薬剤師（日本医療薬学会）
真志田絵美子	老年薬学認定薬剤師（日本老年薬学会）
宮本佳奈	緩和薬物療法認定薬剤師（日本緩和医療薬学会）
三木陽介	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）
山崎友香	スポーツファーマシスト（日本アンチ・ドーピング機構）

5) 薬剤部人事

【採用】	1月1日 本永正矩（薬剤師）
	4月1日 秋月 萌, 秋本菜里, 板村 亮, 梶川和哉, 久保有子, 小林真理, 土本美咲, 松島 葵, 山田 堇（以上, 薬剤師）
	11月1日 鳥居洋子（事務員）
【配属】	10月1日 宇野博美, 大高瞳, 沖本仁美, 小別所貴弘, 濱田貴行（以上, 学生）
【昇進】	4月1日 佐伯康之（薬剤主任・院発副薬剤部長 → 副薬剤部長） 嶋田江理嘉, 大東敏和, 吉川博（薬剤師 → 薬剤主任）
【登用】	4月1日 小澤智紀, 部谷本知佐子, 檜山洋子（契約職員→薬剤師） 5月1日 土井舞子（契約職員→薬剤師）
【復職】	なし
【産休】	9月16日 井廻裕美
【退職】	3月31日 覚前美希, 松山未来 4月30日 捻橋久美 6月12日 吉野知恵 12月31日 増田有紀

4. 事業ならびに会計報告

1) 事業	12月23日 広島大学病院 薬剤部同門会 総会・懇親会 ホテルグランヴィア広島 4階 悠久
-------	--

2) 事業計画 平成 30 年 12 月 総会 16 時 30 分・懇親会 17 時（時間は予定）場所未定

3) 役員

会 長 松尾裕彰
副会長 畝井浩子，埜越崇範
理 事 角山政之，佐伯康之，大松秀明
監 事 新井茂昭，三宅勝志
名誉会長 木平健治

4) 業績（11 月 30 日現在・詳細は次ページ参照）

原著（6 篇），著書（0 点），解説・報告・その他（6 報），依頼講演（44 件），
学術大会発表（40 件）

5) 決算 平成 29 年度 平成 30 年 4 月以降に同門会ホームページに掲載予定

≪ 業績 (2017年1月1日～11月30日) ≫

原著(6篇)

- 1.角山政之, 富永雅枝, 柳田徳枝, 埜越崇範, 松尾裕彰. 医薬品の購入規格を小量包装へ変更した時の効果に関する検討. 日本病院薬剤師会雑誌,53(1):41-3 (2017)
- 2.角山政之, 村瀬哲也, 田中惇子, 深川恵美子, 宮井ふみ子, 井廻裕美, 埜越崇範, 松尾裕彰. 薬学実習生へのアンケート調査から見える在宅医療における実務実習の重要性. 日本病院薬剤師会雑誌,53(1):57-61 (2017)
- 3.真志田絵美子, 櫻下弘志, 増田有紀, 嶋田江理嘉, 木平健治, 春田吉則, 岩本博志, 服部登, 柴田ゆうか, 佐伯康之, 畝井浩子, 松尾裕彰. 喘息管理手帳を用いた医薬連携の有用性についての検討. 日本病院薬剤師会雑誌,53(2):201-6 (2017)
- 4.水上皓喜, 櫻下弘志, 佐伯康之, 松尾裕彰, 日浦和徳. 多発性骨髄腫に対するボルテゾミブ・シクロホスファミド・デキサメタゾン3剤併用療法における投与量評価と安全性の検討. 日本病院薬剤師会雑誌,53(6):687-92 (2017)
- 5.飯島茂子, 津田毅彦, 森山達哉, 荻野龍平, 横大路智治, 松尾裕彰. 水溶性アルブミン画分に原因抗原の存在が疑われたスパゲッティ依存性運動誘発アナフィラキシーの1例. J Environ Dermatol Cutan Allergol,11(3) 259-65 (2017)
- 6.宮本佳奈, 大東敏和, 泉谷悟, 林優美, 中島春佳, 松尾裕彰. フェンタニル舌下錠を使用しケミカルコーピングが疑われた肛門癌患者の一例. 広島県病院薬剤師会雑誌,52(4):207-11 (2017)

解説・報告・その他(6報)

- 1.富田隆志. 審査報告書から見る新薬の裏側 第6回リフキシマ錠(リファキシミン). 月刊薬事,59(9) 1850-6 (2017)
- 2.柴田ゆうか. 新知見を知って看護力もUP 他職種連携 手術室の薬剤管理. OPE NURSING, 32(8):868-70 (2017)
- 3.佐藤智人. 救急ナースのお薬早しらべ帳(降圧・冠血管拡張薬). Emergency Care,30(11):1040-47 (2017)
- 4.吉川博. 救急ナースのお薬早しらべ帳(昇圧薬). Emergency Care,30(11):1048-52 (2017)
- 5.吉川博. 急性期病棟での薬学的管理の実践 ②救命救急. 日本病院薬剤師会雑誌,53(11):1340-1 (2017)
- 6.柴田ゆうか, 中野由紀子, 松尾裕彰. 術前における薬学的管理の実践ポイント. 薬局 68(12):83-8 (2017)

依頼講演(44件)

- 1.櫻下弘志. 在宅での正しい吸入療法や自己注射を目指して～喘息・COPDや関節リウマチを例に～. 広島県青年薬剤師会 知っピン月イチ勉強会, 広島, 2017年1月

2. 森木昌子. 医療安全への具体的取り組み. 広島歯科医療安全支援機構認定講習会 (第 3 期), 広島, 2017 年 1 月
3. 佐伯康之. がん検診・治療に関わる上で知っておきたい知識 (2016 年度第 1 回). がん検診サポート薬剤師養成研修会, 福山, 2017 年 1 月
4. 佐伯康之. がん検診・治療に関わる上で知っておきたい知識 (2016 年度 第 2・3 回). がん検診サポート薬剤師養成研修会, 広島, 2017 年 2 月
5. 真志田絵美. 喘息治療における服薬指導の重要性. 南区勉強会 (第 2 回), 広島, 2017 年 2 月
6. 櫻下弘志. 喘息発作時における対応を共有化するために～アクションプランカードの作製～. 南区勉強会 (第 2 回), 広島, 2017 年 2 月
7. 畝井浩子. 集中治療における薬剤師の役割とこれから. 日本集中治療医学会 中国四国支部学術集会 (第 1 回), 高松, 2017 年 2 月
8. 藤井健司. 血中濃度モニタリングを中心としたてんかんコントロールへの薬剤師のかかわり. 全国てんかんセンター協議会総会 (第 4 回), 奈良, 2017 年 2 月
9. 泉谷悟. 実践研修 (安定ヨウ素剤等). 原子力災害医療対応研修講師養成講座 (2016 年度 第 2 回目), 東京, 2017 年 2 月
10. 佐伯康之. 医療連携における薬薬連携 ～薬剤師として出来ること～. 神戸学院大学広島支部卒後研修会, 広島, 2017 年 3 月
11. 佐伯康之. がん検診・治療に関わる上で知っておきたい知識 (2016 年度 第 4 回). がん検診サポート薬剤師養成研修会, 広島, 2017 年 3 月
12. 畝井浩子, 佐藤智人, 吉川博, 福島隆宏, 松尾裕彰. 基幹教育病院における集中治療室専任薬剤師. 日本集中治療医学会学術集会 (第 44 回), 札幌, 2017 年 3 月
13. 畝井浩子. 病棟専任薬剤師業務 ～薬愛管理指導業務と病棟薬剤業務～. 日本臨床衛生検査技師会 日臨技医療政策企画 病棟に必要な能力開発実践研修会, 東京, 2017 年 3 月
14. 櫻下弘志. 吸入指導のコツと病薬連携の重要性 ～吸入療法の意外な落とし穴～. Asthma Network Hiroshima (第 12 回), 広島, 2017 年 3 月
15. 大東敏和. 米国における研修を終えて. 広島 PC 国際推進協会研修会, 広島, 2017 年 4 月
16. 櫻下弘志. これからの在宅医療における薬剤師の役割～喘息や関節リウマチ疾患での関わり～. 広島佐伯支部集合研修会 (第 137 回), 広島, 2017 年 4 月
17. 佐藤智人. 中毒診療における薬剤師の関わるべきポイント～症例を通して～. 日本救急医学会・中国四国地方会 総会・学術集会 (第 33 回), 鳥取, 2017 年 5 月
18. 吉川博, 佐藤智人, 福島隆宏, 土井舞子, 佐伯康之, 畝井浩子, 廣橋伸之, 志馬伸朗, 松尾裕彰. 救急・集中治療領域における薬物治療効果向上への薬剤師の関わり. 日本救急医学会・中国四国地方会 総会・学術集会 (第 33 回), 鳥取, 2017 年 5 月
19. 柴田ゆうか. 周術期のチーム医療. 南多摩 AF Seminar ～周術期のチーム医療～, 東京, 2017 年 5 月
20. 真志田絵美子. テーマ : 『 がん患者の栄養管理 がん患者の栄養管理 』分子標的治療における栄養障害とその対策. NST を本音で語る会 (第 26 回), 広島, 2017 年 6 月
21. 松尾裕彰. 抗がん剤治療について. 東広島ロータリークラブ例会, 広島, 2017 年 6 月

- 22.大東敏和. 薬物療法を行う意義を考えてみる ～現在の治療薬そして新たな治療薬の展望～. 糖尿病教室 (第 290 回), 広島, 2017 年 7 月
- 23.松尾裕彰. 抗ヒスタミン薬の進歩 –眠気・インペアドパフォーマンスと自動車運転–. 日本医薬品情報学会総会・学術大会 (第 20 回), 東京, 2017 年 7 月
- 24.富田隆志. 医薬品情報業務の過去・現在・未来～日本病院薬剤師会の医薬品情報業務の検討を踏まえて医薬品情報の収集・評価・情報提供について. 日本医薬品情報学会総会・学術大会 (第 20 回), 東京, 2017 年 7 月
- 25.角山政之. –治験に付随する研究の場合–広島大学病院における治験に付随して実施される遺伝子研究の動向と説明文書・同意文書に対する取り組み. 日本臨床薬理学会中国四国地方会 (第 2 回), 岡山, 2017 年 7 月
- 26.柴田ゆうか. 術前、術中、術後の薬学的管理. 広島県病院薬剤師会東支部研修会, 福山, 2017 年 7 月
- 27.大東敏和. 糖尿病性腎症という病態を考慮した薬学的療養指導. 広島腎と薬剤研究会 (第 24 回), 広島, 2017 年 8 月
- 28.大東敏和. 充実した病棟記録業務を継続する体制. 瀬戸内病院薬学研究会 (第 2 回), 広島, 2017 年 8 月
- 29.佐伯康之. 誤嚥性肺炎を起こしやすい薬剤. 誤嚥性肺炎予防に関する研修会, 広島, 2017 年 8 月
- 30.佐伯康之. 薬剤師への期待に応えるということ. もっと勉強しよう会 (第 69 回), 三原, 2017 年 8 月
- 31.大東敏和. 在宅緩和ケアを取り巻く薬剤師の課題に向き合う. 備北地区緩和医療を考える会 (第 18 回), 三次, 2017 年 8 月
- 32.富田隆志. 大学病院における医薬品情報. 広島県病院薬剤師会 病院機能別業務検討委員会研修会, 広島, 2017 年 8 月
- 33.富田隆志. 薬剤耐性 (AMR) アクションプランを知ろう. 広島院内感染対策研究会 (第 35 回), 広島, 2017 年 9 月
- 34.埴越崇範. Educational program for foreign pharmacists and international exchange students. World Health Summit in Hiroshima 2017, 広島, 2017 年 10 月
- 35.富田隆志. テイコプラニンの投与設計と MRSA 感染症治療における位置づけ「進化する抗菌薬 TDM ガイドライン 2016–使用する立場から見たガイドライン–». 日本感染症学会西日本地方会学術集会 (第 87 回)・日本感染症学会中日本地方会学術集会 (第 60 回)・日本化学療法学会西日本支部総会 (第 65 回), 長崎, 2017 年 10 月
- 36.柴田ゆうか. 手術室における医薬品の適正使用とリスクマネジメント. 平成 29 年第 2 回日本手術医学会教育セミナー チーム医療と薬剤師業務, 青森, 2017 年 10 月
- 37.大東敏和. 血糖変動を来たす疾患への薬学的アプローチ. 糖尿病の治療を考える会 (第 47 回), 広島, 2017 年 11 月
- 38.藤井健司, 松尾裕彰. 抗てんかん薬のここに注意. 日本てんかん学会 (第 51 回), 京都, 2017 年 11 月
- 39.佐藤智人. 薬剤の安全使用のための管理に関する基本的知識. 広島県看護協会 医療安全管理者養成研

修（平成 29 年度），広島，2017 年 11 月

- 40.佐藤智人．医薬品と転倒・転落，車の運転．日本准看護師連絡協議会 研修会，広島，2017 年 11 月
- 41.佐伯康之．医薬品の適正使用と安全管理．日本准看護師連絡協議会 研修会，広島，2017 年 11 月
- 42.畝井浩子．医薬品の基礎知識．日本准看護師連絡協議会 研修会，広島，2017 年 11 月
- 43.大松秀明．医薬品に関するインシデント事例と防止対策．日本准看護師連絡協議会 研修会，広島，2017 年 11 月
- 44.柴田ゆうか．周術期における薬剤師の関わり．日赤薬剤師会（第 46 回），名古屋，2017 年 11 月

学術大会発表(40 件)

- 1.村瀬哲也．治験と個人情報への取扱い—アンケート調査と情報漏洩対策へ—．中国地区臨床研究・治験活性化連絡協議会，広島，2017 年 1 月
- 2.池田博昭，高瀬久光，柴田ゆうか，池田純子，中妻章，二宮昌樹．ヤーズ®配合錠の安全性速報や医薬品リスク管理計画等を補う方策の検討．日本臨床試験学会 学術集会総会（第 8 回），大阪，2017 年 1 月
- 3.福島隆宏，吉川博，佐藤智人，埜越崇範，畝井浩子，廣橋伸之，志馬伸朗，松尾裕彰．透析施行患者にゲンタマイシンの透析前投与を行った一例．日本集中治療医学会 中国四国支部学術集会（第 1 回），高松，2017 年 2 月
- 4.古屋由加，山本さおり，井廻裕美，山中恵子，角山政之，中村マリ子，阿部郁女，横川有香，片桐匡弥，瀬山剛，飯田幸治．患者から被験者，そして，てんかん啓発の発信者へ -14 歳の難治性てんかん患者の治験チーム医療を通じた成長の報告-．全国てんかんセンター協議会総会（第 4 回），奈良，2017 年 2 月
- 5.荻野龍平，大本亜沙妃，横大路智，埜越崇範，松尾裕彰．質量分析法による卵白アレルゲン定量法の開発．日本皮膚科学会（第 132 回）山陰・島根合同開催地方会（第 28 回），出雲，2017 年 3 月
- 6.高山良，西垣内亮，櫻下弘志，村瀬哲也，泉谷悟，佐伯康之，日浦和徳，松尾裕彰．TAS-102 の腎機能障害患者における副作用発現に関する検討．日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017，新潟，2017 年 3 月
- 7.長田麻央，中井智恵，富田隆志，埜越崇範，横大路智治，杉本由美，松尾裕彰．ハムスター由来膵β細胞株（HIT-T15）におけるオランザピンによるインスリン分泌抑制機構の解析．日本薬学会（第 137 回），仙台，2017 年 3 月
- 8.池田博昭，柴田ゆうか，中妻章，高瀬久光，池田純子，二宮昌樹．医薬品リスク管理計画（RMP）をお薬手帳で活躍する方策の検討．日本薬学会（第 137 回），仙台，2017 年 3 月
- 9.大東敏和，平田かおり，柴田ゆうか，佐伯康之，畝井浩子，埜越崇範，大野晴也，米田真康，松尾裕彰．在米日系人のダイエタリーサプリメントの使用状況と生活習慣病との検討．日本糖尿病学会年次学術集会（第 60 回），名古屋，2017 年 5 月
- 10.福島隆宏，吉川博，佐藤智人，埜越崇範，畝井浩子，廣橋伸之，志馬伸朗，松尾裕彰．透析施行患者にゲンタマイシンの透析前投与を行った 2 症例．日本臨床救急医学会総会・学術総会，東京，2017

年 5 月

11. 荻野龍平, 大本亜沙妃, 横大路智治, 埜越崇範, 森田栄伸, 松尾裕彰. 質量分析装置を用いた血漿中抗原濃度測定法の開発. 日本アレルギー学会学術大会 (第 66 回), 広島, 2017 年 6 月
12. 吉川博, 佐藤智人, 福島隆宏, 畝井浩子, 廣橋伸之, 志馬伸朗, 松尾裕彰. 心不全患者に対するリドカイン点滴により副作用発現が疑われた 2 例. 日本中毒学会総会・学術大会 (第 39 回), つくば, 2017 年 7 月
13. 佐藤智人, 吉川博, 福島隆宏, 畝井浩子, 松尾裕彰. シアン化カリウム急性中毒患者に対する救命センター専従薬剤師の関わり. 医療薬学フォーラム 2017/クリニカルファーマシーシンポジウム (第 25 回), 鹿児島, 2017 年 7 月
14. 新本唯一, 泉谷悟, 友田江美, 西垣内亮, 増田有紀, 丸子和也, 村岡未来, 埜越崇範, 佐伯康之, 畝井浩子, 松尾裕彰. 輸液製剤調製時における重量監査支援システムの構築. 医療薬学フォーラム 2017/クリニカルファーマシーシンポジウム (第 25 回), 鹿児島, 2017 年 7 月
15. 山中恵子, 古屋由加, 荒神曜子, 増井陽子, 中田千彩, 山本さおり, 村瀬哲也, 田中惇子, 角山政之, 梅本誠治. 治験中止から次治療への移行の狭間で—被験者が患者に戻る時、CRC が抱えるジレンマ. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2017 (第 17 回), 名古屋, 2017 年 9 月
16. 古屋由加, 山本さおり, 山中恵子, 中田千彩, 阿部由佳, 井廻裕美, 白地直美, 村瀬哲也, 角山政之, 梅本誠治. 患者から被験者、そして、てんかん啓発の発信者へ—14 歳の難治性てんかん患者の治験チーム医療を通じた成長の報告—. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2017 (第 17 回), 名古屋, 2017 年 9 月
17. 角山政之, 中村幸夫, 沖田規剛, 村瀬哲也, 宮井ふみ子, 増井陽子, 荒神曜子, 山中恵子, 松尾裕彰, 梅本誠治. 実績に基づく治験費用の支払い方法 (マイルストーン方式) の導入と実施手順について. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2017 (第 17 回), 名古屋, 2017 年 9 月
18. 増井陽子, 角山政之, 宮井ふみ子, 古屋由加, 深川恵美子, 後藤志保, 阿部由佳, 井廻裕美, 白地直美, 梅本誠治. 新人 CRC がベテラン CRC に近づくための治験手順の【見える化】の有用性. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2017 (第 17 回), 名古屋, 2017 年 9 月
19. 宮井ふみ子, 田中惇子, 村瀬哲也, 小島美樹子, 深川恵美子, 古屋由加, 山中恵子, 角山政之, 松尾裕彰, 梅本誠治. 国際共同試験で求められる英語力への対策 広島大学病院の取り組み —CRC の英語力自己評価と英語例文集の作成—. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2017 (第 17 回), 名古屋, 2017 年 9 月
20. 有村典謙, 豊見敦, 青野拓郎, 谷川正之, 井上映子, 竹本貴明, 中川潤子, 平本敦大, 小澤孝一郎, 松尾裕彰, 豊見雅文. 広島県民と医療・介護従事者に対するアンケート調査による健康食品利用実態と健康被害発生状況調査. 日本薬剤師会学術大会 (第 50 回), 東京, 2017 年 10 月
21. 櫻下弘志, 吉屋智晴, 宮田義浩, 三隅啓三, 花木英明, 津谷康大, 益田武, 服部登, 岡田守人, 松尾裕彰. チームで成し遂げた嘔吐・食思不振に対する六君子湯の有効性に関する前向き試験. 日本癌治療学会 (第 55 回), 横浜, 2017 年 10 月
22. 山崎友香, 柴田ゆうか, 大東敏和, 大久保弥生, 佐伯康之, 畝井浩子, 松尾裕彰. 薬剤師の退院時カンファレンス参加によってアドヒアランス不良が改善した 1 例. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月

- 23.石井聡一郎, 真志田絵美子, 櫻下弘志, 佐伯康之, 松尾裕彰. タルクによる胸膜癒着術への全身ステロイド剤の影響. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 24.宮本翔平, 佐藤智人, 吉川博, 土井舞子, 佐伯康之, 畝井浩子, 松尾裕彰. プレアボイド報告における薬物治療効果向上 (様式 3) 事例の解析. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 25.長田麻央, 中井智恵, 三浦悠美香, 富田隆志, 埜越崇範, 横大路智治, 松尾裕彰. ハムスター由来膵β細胞株 (HIT-T15) におけるオランザピンによるインスリン分泌抑制機構の解析. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 26.小林遼平, 兼重陽香里, 三浦悠美香, 埜越崇範, 横大路智治, 木村康浩, 松尾裕彰. L-DOPA・Benserazide 配合剤の中樞機能に与える影響. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 27.神出佳旺, 菅野啓司, 杉山晶子, 岸川暢介, 田妻進, 埜越崇範, 松尾裕彰. Lysophosphatidylcholine による胆管上皮障害に対する phosphatidylcholine の脂肪酸組成の違いによる細胞保護効果. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 28.相良夢香, 柴田ゆうか, 埜越崇範, 松尾裕彰. 高浸透圧薬液血管外漏出の病理学的評価に基づく傷害リスクの解明. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 29.大本亜沙妃, 荻野龍平, 横大路智治, 埜越崇範, 松尾裕彰. 質量分析法による血漿中小麦グリアジン定量法の開発. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 30.山本崇弘, 横大路智治, 埜越崇範, 松尾裕彰. 魚由来コラーゲンアレルギーの原因抗原の精製. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 31.滝沢大吾, 荻野龍平, 横大路智治, 埜越崇範, 千貫裕子, 森田栄伸, 松尾裕彰. イネ科花粉に感作された小麦アレルギー患者の抗原の同定. 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会 (第 56 回), 徳島, 2017 年 10 月
- 32.久保有子, 富田隆志, 佐伯康之, 北野弘之, 梶原俊毅, 繁本憲文, 大毛宏喜. 血液透析施行患者におけるバンコマイシン注投与の有効性と安全性の検討. 日本感染症学会西日本地方会学術集会 (第 87 回)・日本感染症学会中日本地方会学術集会 (第 60 回)・日本化学療法学会西日本支部総会 (第 65 回), 長崎, 2017 年 10 月
- 33.大東敏和, 檜山洋子, 上代大地, 柴田ゆうか, 佐伯康之, 松尾裕彰. 病棟業務を担う新人薬剤師教育体制の教育と評価. 日本医療薬学会 (第 26 回), 幕張, 2017 年 11 月
- 34.吉川博, 佐藤智人, 福島隆宏, 畝井浩子, 松尾裕彰. フェンタニル貼付剤大量貼付による心肺停止症例. 日本医療薬学会 (第 26 回), 幕張, 2017 年 11 月
- 35.嶋田江理嘉, 埜越崇範, 富田隆志, 久保有子, 佐伯康之, 松尾裕彰. 外来ポリコナゾール使用患者における血中濃度測定の意義. 日本医療薬学会 (第 26 回), 幕張, 2017 年 11 月
- 36.片岡達夫, 埜越崇範, 福島隆宏, 川博, 嶋田江理嘉, 富田隆志, 佐伯康之, 松尾裕彰. バンコマイシン投与時の血中濃度に影響する患者背景の検討. 日本医療薬学会 (第 26 回), 幕張, 2017 年 11 月

37. 櫻下弘志, 泉谷悟, 西垣内亮, 村瀬哲也, 佐伯康之, 松尾裕彰. ニボルマブによる間質性肺疾患発現後の対応方法の検討. 日本医療薬学会 (第 26 回), 幕張, 2017 年 11 月
38. 藤井健司, 藤田啓子, 石井聡一郎, 畝井浩子, 山崎尚也, 斉藤誠司, 藤井輝久, 松尾裕彰. スタリビルド配合錠からゲンボイヤ配合錠へ薬剤変更した 8 症例. 日本医療薬学会 (第 26 回), 幕張, 2017 年 11 月
39. 荒川隆之, 大東敏和, 白井敦史, 只佐正嗣, 後藤千栄, 村上秀治, 大和浩之, 今井圭介, 柳田祐子, 平本敦大, 竹本貴明, 藤山りさ, 橋本佳浩, 中村徹志, 松尾裕彰. 保険薬局を対象とした病院薬剤師との連携に関するアンケート調査. 広島県薬剤師会学術大会 (第 37 回), 広島, 2017 年 11 月
40. 久保有子, 富田隆志, 佐伯康之, 梶原俊毅, 繁本憲文, 北野弘之, 大毛宏喜. 骨感染症におけるダブトマイシン含有セメントの治療成績. 外科感染症学会 (第 30 回), 広島, 2017 年 11 月

広島大学病院薬剤部 同門会 規約

第1章 総則

第1条 (名称)

本会を「広島大学病院薬剤部および広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬学専攻医療薬学講座病院薬剤学研究室同門会」、通称「広島大学病院薬剤部同門会」とする

第2条 (事務局)

本会の事務局は、広島大学病院薬剤部（広島市南区霞1丁目2番3号）におく

第2章 目的および事業

第3条 (目的)

広島大学病院薬剤部および広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬学専攻医療薬学講座病院薬剤学研究室の発展を期し、併せて会員の親睦・情報交換と学識および研究の向上を図ること

第4条 (事業) 本会は、次の事業を行う

- (1) 会誌を年1回発行する
- (2) 総会を年1回開催する
- (3) 理事会を年1回開催する。但し、必要に応じて会長が招集できる
- (4) 弔慰祝賀を会員のお祝いおよび不幸に際し、必要に応じて会長が招集できる
- (5) その他会長が必要と認めたもの

第3章 会員および役員

第5条 (会員)

- (1) 本会は、広島大学病院薬剤部および広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬学専攻医療薬学講座病院薬剤学研究室の在籍者、元職員、卒業者およびその他会長が認めた者を持って構成する
- (2) 会員は、本会所定の会費を支払う義務を負う

第6条 (退会) 会員は、次の事由によってその資格を喪失する

- (1) 死亡
- (2) 本人から退会の申請があり、理事会で承認されたとき
- (3) 3年以上連絡が取れず、理事会で承認されたとき

第7条 (役員) 本会は、次の役員をおく

- (1) 役員は、会長1名、副会長若干名、理事若干名、監事2名とする
- (2) 役員の任期は、2年とし、再任を妨げない
- (3) 欠員により就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第8条（役員職務）

- (1) 会長は、本会を代表し、これを統理する
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、これを代行する
- (3) 理事は、理事会を構成し、本会の目的達成に必要な事項を処理する
- (4) 監事は、会務を監査する

第9条（役員選出方法）

- (1) 会長は、薬剤部長とする
- (2) 副会長、理事および監事は、会員の中から会長が指名する。但し、理事のうち1名は薬剤主任とし、その者は、薬剤部幹事を兼任する。

第10条（名誉会長）

本会に名誉会長を置くことができる。名誉会長は前会長を会長が委嘱する

第4章 会計

第11条（会計） 本会は、次の通り会計を行う

- (1) 本会の諸経費は、会費および寄附、その他収入をもってこれに充てる
- (2) 会費として、入会時には、入会費を納入しなければならない。また現役在籍会員は、年会費を納入しなければならない。会費は、別途細則を定める
- (3) 会費を使用する範囲については、別途細則を定める。
- (4) 会計年度は、毎年4月1日から3月31日とする

第5章 附則

第12条（会則の変更）

この会則の変更は、理事会に諮り、**総会出席者の過半数の同意をもって**~~で~~決定する

第13条（施行細則）

本規約の施行に必要な事項は細則として別に定め、その改廃は理事会の承認を経て総会にて報告するものとする

附則 本会則は、平成27年1月1日から施行する

平成29年12月23日一部改定（第7条（3）追加、第12条改定）

細則

会費

1. 会費は、入会費および年会費とする。
2. 徴収の額および時期
 - ・職員，薬剤部研修生および学生
 - ：年会費 3000 円（入会時期を問わず一律，離籍後は免除）
 - ・元職員・卒業生：
 - ①発足時に元職員・卒業生であるもの
入会費は、会員となった時に 3000 円徴収。年会費は、免除。
但し、元職員のうち 65 歳以上の部長副部長経験者は入会費免除。
 - ②現役同門員が元職員・卒業生となったもの
入会費および年会費ともに、免除。
 - ・部外事業の研修生，実習生：
 - ・在籍期間が 1 年以上の場合は前項に準じる
 - ・在籍期間が 1 年未満の場合，入会は任意とし，3000 円徴収
（年度を跨いでも 1 回のみ徴収）
 - ・平成 26 年度発足時の取り扱い
 - ・職員，学生からは初年度会費として 3000 円徴収
（職員は納付済みの薬局費から充当）
 - ・元職員，卒業生の入会は任意とし，入会者から 3000 円徴収
（65 歳以上の部長副部長経験者は免除）

会費を使用する範囲

- ・会誌作成（年 1 回，年末に作成）
作成に掛かる必要経費とする
- ・同門会総会（年 1 回，年末に開催）
開催に掛かる必要経費とする。原則，飲食に掛かる費用は，その都度別途に徴するが，会員のうち退職時に副部長以上の役職かつ 65 歳以上のものからは，徴収しない
- ・慶弔（本人のみ）
死亡：元職員の時のみ，弔電を「広島大学病院薬剤部同門会 一同」より送る。弔慰金は 1 万円とし，供花も併せて送る。
結婚：元職員の時のみ，祝電を「広島大学病院薬剤部同門会 一同」より送る。
*いずれの場合も，原則会員本人または会員の 1 親等から報告があった場合のみ対応する。

- ・通信

通信に掛かる必要経費とする。会誌や案内などの送付は、原則メールを使用する。郵送は、理事会で必要と認めたものおよびメールアドレスが不明の場合に限る。

- ・交際

同門会員と情報交換や親睦を目的としたものに対して、会長・副会長の同席または事前に了承を得た上で、その対象者分に限り 1 回当たりの実費（上限 5000 円/回）を支給する。但し、対象者が同一の場合は、原則 1 回まで、対象者が学生の場合は、原則上限 1000 円/回までとする。

- ・その他、会長が必要と認めたもの